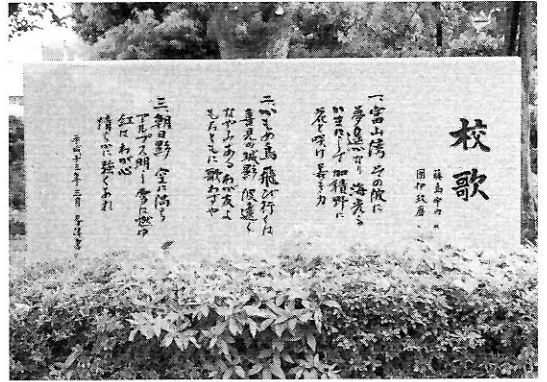


窓

— 同窓会だより —

No. 98 (平成 26. 8. 10発行)

富山県立魚津高等学校同窓会



唐突ですが、皆さんは「奇跡」を信じますか？私は、「奇跡」はないと考える人間です。

イチローや本田圭佑の人生が、彼らが小学校の卒業文集に書いたイメージどおりになっているのは有名な話です。また、日頃から「日本一になる」と口にしていた本校サッカー部の生徒たちが、言葉通りに全国高校サッカー選手権で優勝しました。小生も、高校の卒業文集に「高校野球の監督になって甲子園に行く」と書いていました。

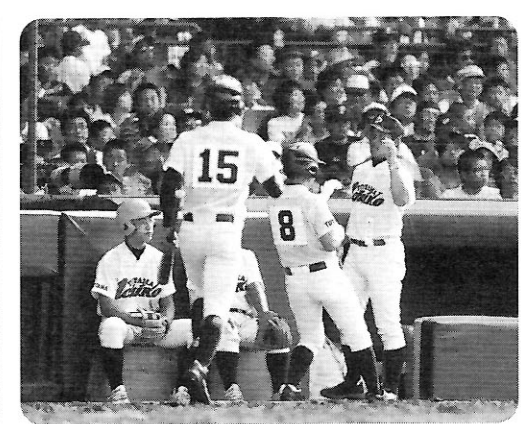
私は、世の中には「引き寄せの法則」が存在すると考えています。「なりたいたい」ではなく、「なる」と信じ



て生きていると、実現するために必要な情報が受信されるようになるのです。

また、昨夏、甲子園を経験させていただいた中で、「甲子園の魔物」の正体をちよっとだけ見たような気がします。それは、非科学的なものではなく、観衆も含めたそこにいる全ての人間の心の集合体として形成される「空気」であり、その「空気」が、プレーする選手

の思考や精神、動作を変え、さらには、審判の思考や精神、判断を



も変え、その中で生じる「結果」なのだと思えます。すべては、「奇跡」ではなく「必然」として起こることなのです。そう考える私が、最近、「奇跡」が存在すると考えるようになりました。当たり前すぎることですが、自分は、父と母、二人の人間がいてこの世に生を授かり、こうして生きている。二人のうちどちらかが欠けたら自分は存在していない。父と母もそれぞれの父母がいてこの世に生まれた。こうして数えて

「奇跡」のはなし

富山第一高等学校教諭
硬式野球部監督
黒田 学
(魚高51回)

人間は、物事がうまく行きはじめると、往々にして横柄な「人間様」になってしまいがちです。けど、実は、人間はこの世に存在していること自体が奇跡的なことであり、さらには、命のバトンリレーを担っている一走者に過ぎないのです。お墓や仏壇に手を合わせるの、この「奇跡」に感謝し、リレー走者としての決意を示す行いです。リレー走者としての決意とは、言い換えると、日々を正しく生きることの決意でもあるのだと思います。

生きている「奇跡」に感謝しながら、「奇跡」ではない自己実現を果たしたいものです。

海望中学校と 現・海望福祉会

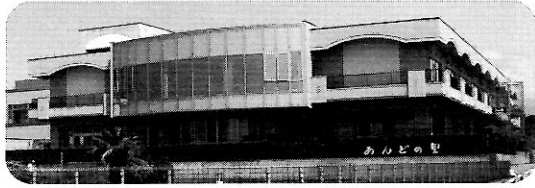


大崎 雅子
(魚高37回卒)

私が勤務している社会福祉法人は高齢者や障害者の介護事業を行っているが、法人設立時、道下校下の市民歴史家から「今、施設の場所は田んぼだが、ここは昔、海望中学校の建設予定地だった」と伺った。校舎跡や「海望」という地名は残ってはいないが、この地はまさに名のごとく、富山湾の雄大な海原と蜃気楼を望むことができる絶景ポイントであり、この

ような逸話の地に施設を創ることができたご縁を紡ぎ、その名を残したいという思いから、法人名に「海望」を付けさせていただいた。

そもそも「海望」の由来とは？戦後の新教育政策下で魚津



あんどの里

区域では、新しく4つの中学校を設立することとなった。角川・魚津・加積、海望中学校である。海望中学校の設立場所は道下・経田両地区の境である仏田とし、そこは海を望む景勝の地であることから「海望」と命名され計画がまとまり、昭和22年4月から道下・経田両小学校の教室を間借りした形で開校した。しかし、戦後の財政難は続き、市内中学校を4校から2校（現在の魚津西部中学校と魚津東部中学校）に統合することとなった。この間、海望中学校は校舎建設に至らず、道下と経田両小学校と共存（内在？）した形で1年10カ月間のみ存在した。

校舎は未建設であり、地名としても残っていない幻の「海望」。富山湾に紅輝く夕陽を見る時、この地にご縁を頂いたことを感謝し、この名に刻まれた歴史を後進に大切に継承していきたいと思う。

夢

松岡 千穂

(魚高44回卒)

小学生の頃、風邪をひいて家で一人寝ていた時、とても心細く、ふと、側にあったラジオをつけま



魚津まつりの中継（筆者左）

した。流れてきたのは、女性アナウンサーの元気な声。朗らかな明るい声を聴いていると、寂しさが薄れ力が湧いてきました。その時、私の将来の夢が決まりました。「人に元気を与えることができる声の仕事がしたい！」

あの決意から30年。今、私は地元魚津のケーブルテレビ局NICETVでアナウンサーをしています。念願の声を仕事でできているものの、人に元気を与えるというより、逆に取材をさせていただく皆さんから元気をもらっています。地元の活性化のために知恵を絞る人、誇りをもって自分の仕事に取り組む人、夢いっぱい元気な子供たち。取材で出会う素敵な人たちは私の財産です。

NICETVでは、平成11年の

開局以来、魚津の夏の風物詩、たてもん祭りとせり込み蝶六踊り街流しの模様を生中継しています。制作スタッフ一同、一年で最も気合が入る熱い仕事です。高さ16m、重さ5トンもあるたてもんが豪快に引き回される様子は見る者を圧倒します。また提灯が灯り夏の夜に浮かび上がるたてもんはため息がでるほど幻想的で優美な姿です。扇子を手に蝶のように舞うせり込み蝶六踊り街流しは、踊り手たちのエネルギーがほとばしっています。毎年、興奮しながらこの祭りの模様を実況しています。

施設に入所中のお年寄りから、お礼の言葉をいただきました。「大好きな魚津の祭りを、テレビで見ることができて感激している。見ていると元気をもらえた。再放送も繰り返し見ている。」体が震える瞬間でした。小学生の頃、私が感じた思いを同じように持つてくださる方がいる。私にとって、本当に嬉しい言葉でした。

「地域の応援団NICETV」の一員として、いきいきとした人、モノ、場所を紹介し、見てくださる人を元気づけることができる放送をめざし、これからも奮闘していきたいです。

あれから22年こんな毎日です 魚高45回生より

わが『友』ここに集いて



沓掛 栄一郎

魚津高校を卒業して22年。不感となり、毎年恒例になっている同窓会の幹事をさせていた。年と年と。昨年、今まで縁がないであろうと思っていた同窓会に参加し、皆さんと一緒に大きな輪になって校歌を熱唱した。とても心地よく、そしてだんだんと胸が熱くなってきた。それは、青春時代の淡い1ページが蘇ったわけでもなく、それは、何かと答えられるものではないが、魚高の卒業生でよかったと心から感じる事ができた。

それから1年。幹事や手伝ってくれた同級生と準備をしながら、それぞれの「人」と話ができた。今だからこそ感じる事ができる人間味といったところか。素敵なご縁をいただいた。そんな仲間と準備を進めてきた平成26年度の同窓会が本日開催される。この「蜃窓」

の発行日でもある。高校を卒業してから同じ22年間だが、それぞれ歩いてきた道のりが違う同級生たちのご縁、そして、参集いただきました皆様とのご縁、このつながりを私は、どのようにしてかみ締めていることだろうか。

「わが友よ、もろともに歌わずや」魚高のつながりを考えると、これからの人生、わくわくせずにはいられない。そんな期待を感じる瞬間でもある。

魚高でよかった

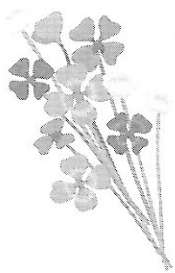


濱角 志信

高校生だった私は、きつと4歳になった私自身を想像できなかつた。だろ。いや想像したくなかつた。あの頃の私は、楽しいことをまず優先に生活をしていたのではないか。思い出すのは、お祭りに行ったこと、帰りに寄り道して遊んだことや部活動のことなどだ。

勉強もしたとは思いますが、あまり記憶に残っていない。両親が医療関係だったため、進学は薬剤師の資格をとることが良いと勧められ、薬学部を目指した。残念ながら、第一志望に合格できる学力が無かつたために、試験中真つ青になつたことは覚えてる。

滑り止めで受けた名古屋の某私立薬学部に進学し、薬剤師の資格をとり、仕事をしてきたが、7年前に富山に帰ってきて調剤薬局を作つた。あの頃は起業するなんて、全く想像できなかった。なぜこのような人生設計になつたのか本人も解らないのだが、一つ上げるとすれば、それは『人との出会い』ではないかと思う。人と出会い、刺激を受けて、私もこうなりたいと思ひ、行動する。その繰り返しだ。その中で、得たものもあれば、失つたものもある。富山に帰つてきてから、魚高出身というだけで、新たな出会い、絆が生まれる。魚高でよかったと思う機会が多い。『人との出会い』はまだまだ続きそう



自由闊達、文理混合



野末 雅寛

魚津高校を卒業された方々が歩む王道から逸脱した道を歩むようになった私が、不思議なご縁で寄稿させていただくことになりました。

現在、同じく母校を卒業した父と共に、自動機を開発・設計する企業を故郷の朝日町で経営しております。若き日に哲学を志した私が、疾風怒濤の青年期を経て気がついたら、レンズ磨きの家業で生計を立てたという異端の哲学者スピノザと同じ道をいつの間にか歩むようになりました。

顧客の無理難題に知恵を振り絞つて応える日々ですが、これも自由闊達な校風の中で、文理の壁を超えた思考を鍛錬してもらつたおかげです。一九九三年の三月に卒業した私の学年は文系と理系の人数のバランスが悪く、二年生時に文理混合クラスが設置され、私はその二年四組で一年を過ごしました。この経験が役立つていることを実感しています。

何かのご縁で、同窓の皆様と哲学や機械の話ができる機会が生まれますことを祈念しております。

学校便り



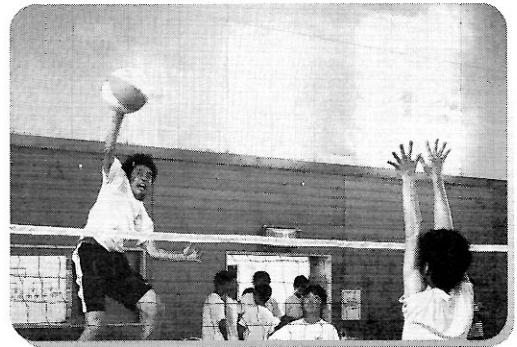
よっしゃ来い蝶六出演 ダンス同好会 (5/18)



第96回全国高校野球選手権大会 富山大会 (7/22)



通学路清掃 (6/16)



球技大会 (7/4)

魚高生の活躍

陸上競技部

- 第67回富山県高等学校陸上競技対抗選手権大会
- ・女子100mH 4位 滝川 絢香 (1-5)★
 - ・女子400mH 5位 滝川 絢香 (1-5)★
 - ・女子400m 5位 尾田まどか (2-5)★
 - ・女子槍投 5位 真下 夏紀 (3-2)★

水泳部

- 第67回富山県高等学校選手権水泳競技大会
- ・男子50m自由形 1位 藤野 拓海 (3-3)★
 - ・女子100m背泳ぎ 1位 菊池穂乃香 (2-2)★
 - ・女子200m背泳ぎ 2位 菊池穂乃香 (2-2)★
 - ・女子50m自由形 2位 小鍋 睦実 (1-2)★
 - ・女子100m自由形 2位 青木 茉奈 (2-2)★
 - ・女子200m自由形 3位 青木 茉奈 (2-2)★
 - ・女子200mバタフライ 2位 川越 梨乃 (1-1)★
 - ・女子400m自由形 3位 川越 梨乃 (1-1)★
 - ・男子100m平泳ぎ 3位 池田 海斗 (2-2)★
 - ・女子400mメドレーリレー 2位 菊池、小鍋 ★
 - 川越、青木

ダンス同好会

- 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 甲信越大会
- ・ヒップホップ部門男女混成スモール編成 1位★
 - ・ヒップホップ部門男子スモール編成 1位★

放送部

- 第53回富山県高校放送コンテスト
- ・朗読部門
優秀賞 1位 竹本奈々子 (3-4)□
 - ・アナウンス部門
優秀賞 3位 高橋 梨奈 (2-5)□

第38回全国高等学校総合文化祭 茨城大会

放送部、新聞部、写真部、弁論同好会 出場

★…北信越大会出場 ☆…全国大会出場 □…NHK杯全国放送コンテスト出場

富山県立魚津高等学校同窓会

〒937-0041 富山県魚津市吉島945番地

TEL (0765) 22-0221

FAX (0765) 22-9970

同窓会ホームページ

<http://www.nice.tv.jp/~gyokou/index.html>

魚津高校ホームページ

<http://www.uozu-h.tym.ed.jp/>

原稿募集のお願い

本校同窓生で「こんな方を知っている」「こんな方が活躍している」という方はいませんか？自薦・他薦は問いません。原稿をお寄せ下さる方募集しています。